

グローバル・コンサーン研究所『グローバル・コンサーン』
執筆要領

1. 原稿の作成

パソコンで作成し、ワープロソフトは Microsoft Word 社の Word を使用する。A4、横書き、フォントは原則として日本語は MS 明朝、ローマ字、数字はいずれも Times New Roman を使用する。

2. 表記

1) 外国語表記

原則としてカタカナ書きとし、一般化していない固有名詞(人名、地名、機関名など)は初出のものに原語を付記する。複合名は「＝」(半角)でつなぐ。

2) 外国の単位(度量衡・貨幣)

カタカナ書きとする(ただしパーセントは「%」[全角]を用いる。)

図表では、m、ha などの記号を使う。

(例)メートル、ヘクタール、ドル

3) 国や年を数えるときの「カ」

「～カ国」、「～カ年」などというときは、小さいカタカナの「カ」を使用する。

4) 数字

慣用句の一部である場合などを除いて、原則としてアラビア数字を用い、万以上には(万、億、兆)の単位を使う。本文中では千の位置取りであるカンマを用いない。ただし、表の単位を表す文中の数字は半角にする(フォント: Times New Roman)。

5) 年度

年度表示には、「/」、継続年度の場合は「～」を用いる。

(例) 1980/81 年、1804～1930 年

6) 丸括弧

中身がすべてローマ字、数字など半角文字の場合は半角フォントの丸括弧を用いる。

3. 項目区分

(節) 1、2、3

(項) (1) (2) (3)

4. 注記(参照/引用文献の表記については 5 参照)

・注は文末脚注。

- ・原則として Word の脚注機能を使用し、論文全体を通して番号（半角、アラビア数字）を付す。
- ・注の番号は文末の場合、句点より前におくこと。
- ・参照／引用文献を単に示す場合は、注ではなく、本文中に著（編）者姓、出版年、参照／引用ページを表記すること（6 参照）。

5. 図表

- ・通し番号を付し、表題をつける。
- ・白黒で作成する。
- ・表は Word、グラフは Excel で作成し、地図・画像は JPEG 等で貼り付ける。
- ・単位、出所を必ず明記し、転載する場合は転載許可を投稿者が自身でとること。
- ・サイズを変更することがあるので、表題、出所は画像には組み込まず、その上下に通常の文字データとして配する。

6. 参照／引用文献の表記

- ・文献リスト方式とし、本文中の参照／引用箇所（著（編）者姓 出版年：参照／引用ページ）を挿入し、最後にまとめて文献リストを掲げる。
- ・姓が同一の著（編）が複数いる場合は、名（のイニシャル）などを適宜記することで区別する。
- ・一つの箇所で同一著（編）者の複数の文献を掲げる場合はセミコロンで区切る。同じく、著（編）者の異なる複数の文献を掲げる場合も同様とする。
 （例）…高めるものである（Allouch & van Zanten, 2008:10）
 …と符合する（浅野 1997:154-160）。
 …は縮まらなかった(Cacoualt-Bitaud & OEuvrard, 2009:41;Ben Ayed, 2009:14)。
 …としていたという(Descoings, 2007:354;2008:145-152)。

7. 文献リスト

文献リストは日本語文献と外国語文献に分ける。リストは本文および注、図表において参照／引用した文献のみにより構成し、それ以外の文献は含めないこと。

1) 日本語文献

- ・著（編）者姓の 50 音順に並べる。
- ・同一著者で複数の文献がある場合は発行年の古い順に並べ、2 度目以降は著者名を____（アンダーバー）で表記する。
- ・同著者で同年発行のものが複数ある場合は 2009a, 2009b...のように発行年に abc を付ける。
- ・出版年の記載のないものは（出版年不明）とする。
- ・著者が 3 人までは全員表記し、4 人以上の場合はタイトルページの最初の著者のみ表記し、そのあとに「ほか」と記す。

(1) 単行書

著(編)者名(出版年)『書名』出版社。[日本語翻訳者、シリーズ名がある場合は出版社の前に入れる。編者が出版社の場合は編者のみ記入する]

(例)

- ・村井吉敬(2009)『ぼくが歩いた盗難アジア 島と海と森と』コモンズ。
- ・セルジュ・ラトゥーシュ(2010)『経済成長なき社会発展は可能か?—〈脱成長〉と〈ポスト開発〉の経済学』中野佳裕訳、作品社。
- ・世界経済情報サービス(2005)『ARC レポート ベトナム』。
- ・田中治彦、杉村美紀共編(2014)『多文化共生社会におけるESD・市民教育』ぎょうせい。

(2) 単行書収録論文

執筆者(出版年)「論文名」(編者『書名』)出版社、掲載ページ。

(例)

- ・丸山英樹(2017)「移民と社会を橋渡しするドイツのNPO」(杉村美紀編著『移動する人々と国民国家:ポスト・グローバル化時代における市民社会の変容』明石書店、163-187ページ。

(3) 雑誌論文

執筆者(出版年)「論文名」(『雑誌名』巻号)掲載ページ。

(例)

- ・稲葉奈々子(2017)「都市の高齢者から奪われた「ふるさと」」(『世界』No.897) 219-228ページ。

(4) 新聞記事

執筆者(発行年)「記事名」(『新聞名』発行月日)。

(例)

- ・三浦まり(2016)「女性の政界進出」(『毎日新聞』8月11日)。

2) 外国語文献

- ・著者名は姓、名の順で表記し、姓のアルファベット順に並べる。
- ・共著の場合は2人目以降は名、姓の順で表記する。3人までは全員表記し、4人以上の場合はタイトルページの最初の著者名のみ記し、そのあとに(et al.)を付ける。
- ・編者の場合は編者名の後に(ed.)(eds.)などを付す。
- ・書名、論文名、雑誌名は、英語の場合は最初の語、および冠詞・前置詞・接続詞を除くすべての単語を大文字で始める。副題の最初の文字も大文字にする。
- ・書名、雑誌名はイタリックにする。論文名は引用符で括る。

(1) 単行書

著者(出版年) 書名, 版, 出版社.

(例)

- Miura, Mari (2012) *Welfare Through Work: Conservative Ideas, Partisan Dynamics, and Social Protection in Japan*, Cornell University Press.

(2) 単行書収録論文

執筆者(出版年) “論文名”, in (en, em) 編者, 書名, 出版社, 掲載ページ.

(例)

- Miura, Mari (2005) ”Who Are the DPJ?: Policy Positioning and Recruitment Strategy”, in Kap Yun Lee, *Asian Perspective, Institute for Far Eastern Studies, Kyungnam University*, pp.xxx-xxx

(3) 雑誌論文

執筆者(出版年) “論文名”, 雑誌名, 巻号, 掲載ページ.

(例)

Morokvasic, Mirjana (1984) “Birds of Passage are also Women..” *International Migration Review*, Vol. 18, No. 4, pp. 886-907.

3) Web ページ (インターネットのページ)

(1) 日本語の場合

「Web ページのタイトル」、(最終閲覧日)。

(2) 外国語の場合 Web ページのタイトル、(最終閲覧日).

*いずれの場合も、執筆者が分かる場合はページタイトルの前に記述する。

8. その他

- 表題の下に著者名をいれ、ふりがなを付ける。
- 原稿本文の末尾に所属機関、学部名、役職名、E-mail アドレスを () 内に入れて付す。

(例)

(上智大学大学院地球環境学研究科博士後期課程 / XXX@gmail.com)

(2018年7月11日上智大学グローバル・コンサーン研究所所員会議にて決定)